



現代自転車考

タイプごとに異なる乗車姿勢。使う筋肉を意識して、運動効果をアップ!

Roadbike

ロードバイク
低い前傾姿勢で視線は下向き。全身運動となり腹筋・背筋もアップ。最も速く走れることを追求した軽くて強度のある素材に加え、特徴的なのはドロップハンドル。ハンドルの一番下を持っては最も低い前傾姿勢になり、風の抵抗を減らしてスピードを上げることが出来ます。この前傾姿勢はハンドルの引きつけて全身の力でペダルを踏むため、下半身だけでなく、腹筋・背筋の強化にも、長距離を効率的に走ることができ、本格的な自転車レースも盛んに行われています。

Crossbike

クロスバイク
脚全体を使う効率的なペダリングでめらかな乗り心地。1980年代にロードバイクの軽量感とマウンテンバイクの安定感を「クロス」して誕生したのがクロスバイク。軽快車よりも前傾姿勢になるフラットバー仕様で、スムーズでめらかなスポーツバイク特有の乗り心地を体験できます。初心者にも比較的乗りやすく、通勤や散歩など街なかでの移動に最適と言われており、またその軽さによって取り回しやすさといった女性への支持を集めています。

Mountainbike

マウンテンバイク
悪路に耐える一体感のある姿勢で下半身の安定した筋肉バランスが必要。山道や河原などの自然の中を縦横無忌に走るための自転車として山を下ることに特化した「ダウンヒル」。山中のツーリングを目的とした「オールマウンテン」などのさまざまなタイプがあるのが特徴。タイプによって乗車姿勢は異なりますが、サスペンションによって耐衝撃性が高く、路面に応じて自由な姿勢が取りやすい設計されています。また最近では街乗りとしても人気が高まっています。

Citycycle

軽快車
上体を起こしたラクな姿勢。乗り方次第で足の筋力アップが可能。体重のほとんどがサドルに集中する直立に近い姿勢。ハンドルの位置が高く、短時間であれば安定してラクに乗ることが出来ます。サドルの位置が低すぎると、前太ももの筋力を主に使うため疲れやすくなり、やや高めの位置に合わせる方が乗り降りもやすくなります。上半身に風の抵抗を受けやすいため、それを活かして力強くペダルを回すことで、脚力アップが期待できます。

歩行と自転車走行時の心拍数比較

高い心拍数=負荷が強い状態なのに、キツさを感じにくいのが自転車運動の特徴

静岡市自転車MAP

SHIZUOKA CYCLE CITY MAP

家康公ゆかりのコースを含む全7コースを収録!

休日版 保存版

静岡市を知る見る楽しむ

7つのルート 中心部と郊外編

駿河湾から南アルプスまで南北に広がる静岡市には、自転車で楽しめる魅力が満載です。太平洋岸自転車道、富士山世界文化遺産構成資産の三保松原、そして今川氏にはじまり徳川家康ゆかりの史跡の数々、さらには古き風情が漂う東海道二峰六宿など市内にあり。自然風土に恵まれた静岡市は2015年から2034年を目標に世界水準の自転車都市をめざし、20年間わたる自転車利用計画を策定しました。SHIZUOKA CYCLE CITY MAPは、7つのコースでその魅力を紹介します。走ればおもしろくなる自転車道で散走をぜひお楽しみください。

INDEX MAP

静岡の特産品

静岡おでん
おでんの具はすべて串刺し、真っ黒な煮汁は毎日ダシが継ぎ足されているのが特徴。店によって味は違うが、黒はんぺんと牛すじ肉が材料として使われています

家康公が命名した 安倍川餅
家康公が名付けたと言われている。きな粉をまぶした餅に砂糖をかけた静岡銘菓です

清水のソウルフード もつカレー
清水のご当地グルメ、豚モツのカレー煮込み。女性にも人気。お土産用の缶詰もあります

駿河に生きる海の恵み 桜えび
駿河湾は唯一、桜えびが漁獲される海です。由比漁港は周辺では生の桜えび、かき揚げなど産地ならではの料理を味わえます

Citycycleコース① 家康公の歴史を巡る散走

徳川家ゆかりの寺社や史跡を巡り、家康公と駿府の歴史を味わおう

家康公が約25年間過ごした静岡市には、徳川時代260年余りの礎となった歴史が数多く残されている。静岡駅北口の竹千代君像前をスタート。徳川慶喜邸跡浮月楼を經由して、家康公が寵愛したお愛の方の菩提寺宝台院。常磐公園から駒形通りを進み弥勒緑地(公園)へ。安倍川の左岸に沿って1kmほど走り駿機山方面へ向かい薩摩土手でちょっと休憩。瑞龍寺、浅間神社を經由して臨濟寺と進む。駿府城公園へ、家康公手植えのみかんと本丸跡には銅像。東御門異輪と坤輪は、見学可能。北街道を清水方面へ、左手に太田町の来迎院を見ながら右折し、清水寺のある清水公園へ。華陽院を經由して朝鮮通信使で有名な宝泰寺、市内で最も歴史ある神社、小籠神社を經由して静岡駅北口の徳川家康公銅像がゴール

◆スタート/ゴール-静岡駅北口 ◆走行距離-約16.5km ◆走行時間-約2.5時間

- 浮月楼**
十五代将軍徳川慶喜公が大政奉還後に20年にわたって住んだお屋敷跡。現在は、創業明治24年の老舗料亭。庭園はほぼの佇まいで、慶喜公の書かれた掛け軸や当時を偲ぶ資料も展示されている
- 宝台院**
家康公の側室で二代将軍秀忠公の生母西郷の局(お愛の方)の菩提寺。家康公の守り本尊となった阿彌陀如来立像は今でも祀られている。拝観料/大学生・大人500円 中高200円 小学生 休館日/土日祝、年末年始、お盆
- 石部屋**
創業文化元年(1804)東海道の名物安倍川餅の自家本元。つきたの湯かきやわらかい餅をたべれるのここだけ 営業時間/9:00~17:00 定休日/木曜日(祝日の場合は前日休) 年始休1月1日
- 薩摩土手**
全長約4100m、安倍川の洪水から駿府を守るため、家康公は駿府城の拡張工事に伴い、天下普請として全国の諸大名を動員した。土手は薩摩藩によって築かれたといわれています
- 瑞龍寺**
豊臣秀吉の妹、家康公の正室旭姫の供養塔がある。旭姫は京都聚楽第で薨し、東福寺の塔頭である南明院に葬られたが、家康公が後に瑞龍寺に墓を建立し菩提を弔った 拝観無料
- 静岡浅間神社**
家康が元服式を行ったことから徳川家が厚く保護された神社。浅間神社は多くの神様が祀られている神社で、主な神は神部神社、浅間神社、大歳祖神社。これらを総称して「おせんげんさん」と呼ばれている 拝観無料

静岡市自転車MAP

SHIZUOKA CYCLE CITY MAP

家康公ゆかりのコースを含む全7コースを収録!

休日版 保存版

MAP作成のために市民で散走とワークショップを開催しました

富士山を背に弓形を走る古典儀の安倍川橋は、眺めてよし

日本紅茶発祥の地である丸子紅茶の魅力を発信する「二六茶庵」前

コースグレードの解説 ※数字は距離

距離	20km未満	30km未満	40km未満	50km未満	50km以上
時間	2時間未満	3時間未満	4時間未満	5時間未満	5時間以上
坂道	まっさらのサイクリングコースを1、坂の多さ、標高差の大きさにしたがって数値が大きくなります。				
見所	コースの見所の多寡を表します				

企画・編集：しずおかモビリティ研究会
問合せ：静岡市交通政策課 054-221-1570
発行：2015年5月 2020年4月改訂

- 臨濟寺**
今川家の菩提寺で、家康公が今川家入質時代に出入りした寺。臨濟寺開山雪齋禪師に家康公は勉学を学び武將としての経綸の基礎をここで身に付けたという。臨濟寺には家康公手習の間がある。見学は要相談
- 駿府城公園**
1586年(天正14)、家康公が築城した城。東御門異輪、南西の角に二層三階の坤輪が復元された。東御門異輪 入場料200円 開館9:00~16:30 坤輪 入場料100円、開館9:00~16:30(入場は16:00まで) 休館日はいずれも月曜(祝日の場合は開館) 年末年始
- 清水寺**
清水寺は「きよみずさん」と呼ばれ、寺号は京都の清水寺に似ていることから名付けられた。家康公は、しばしばこの寺に参詣し観音堂を寄進したという。拝観無料 隣接した谷津山の西端には清水公園がある
- 華陽院**
家康公の祖母源応尼の菩提寺。源応尼の50回忌にあたり、その法名から華陽院と改められた。源応尼と家康公の五女、市姫の墓がある 拝観無料
- 宝泰寺**
駿府城下町でも由緒ある。臨濟寺、清見寺とともに駿河三刹と称されています。家康公の時代は朝鮮通信使の休憩所に利用され、「精羅第一」と称された寺。異国情緒豊かな寺 拝観無料
- 小籠神社**
今川家入質時代に家康公はこの神社で武運長久を祈願したとされています。長きにわたって徳川家の庇護を受けながら駿府城の守護神として尊崇された 拝観無料
- 蓮水寺**
家康公の側室お万の方の開基で、日蓮宗の寺。お万の方は、御三家の水戸徳川家の頼房や紀州徳川家の頼宣の生母。駿府城を守る鬼門として現在の位置に建てられた 拝観無料

その他の見所 静岡市の中心部の見所と家康公のまちづくりをうかがえる町名を紹介します。みなさん自転車で巡って、静岡のまちを楽しんでください

静岡銀行別館	21階展望ロビーは富士山のビューポイント、駿河湾、南アルプス一望できる
静岡市役所本館	スペイン様式のドームがある本館は、県内第一の登録有形文化財
紅葉山庭園	駿府城公園内にある庭園では、四季折々の風情とお茶を楽める
城北公園	市内でも人気のお花見スポット。日本庭園や花時計がある
おでん横丁	繁華街にある常磐公園周辺には、おでん横丁が軒を並べている
JR静岡駅前	JR静岡駅前のタワースクエア3階にある都市美術館
新通町	失われた駿府城天守閣が再現された見えた通りといわれている
伝馬町(徳川九十九町)	東海道五十三次の中宿がおかれ、大名が泊る本陣として賑わった
両替町(徳川九十九町)	銀貨を鋳造する「銀座」のあった場所。東京の銀座のルーツ
金座町(徳川九十九町)	金貨を鋳造する「銀座」のあった場所。現在は日本銀行静岡支店がある
七間町(徳川九十九町)	米、油、茶、魚、塩など七つの産物が暮らしていたとされる町

静岡のまちから自転車便り

文=村井 裕

初めて静岡に自転車を紹介したのは最後の将軍「慶喜公」

徳川慶喜公は新しい時代の波を察知して、討幕派の先手を打って大政奉還をし、鎌倉幕府以来続いてきた武家政治に自ら幕を下ろした人物。わずか32歳という若年で隠居生活を強いられているのだが、その後は趣味の世界に生きていわれている。その慶喜公、静岡のまちを自転車で走る姿は多くの人たちに見られている。

1887(明治20)年2月5日の静岡大新聞に「徳川慶喜公が東京に自転車を注文し、その後乗り回している」という一節がある。慶喜公が自転車を入手したのは、明治10年前後、静岡市中を乗り回しはじめたのが明治15年から16年頃だろう。徳川慶喜家扶(かひ)日記によると、慶喜公が自転車にのめり込んだのは、40代後半から50代に入ってからだ。

日記では、自転車に乗るといふ行為を「今日も自転車で運動した」と書いてある。屋敷から安倍川を越え、丸子の辻月峰まで自転車で走ったと日記にも残されており、清水の次郎長とも交流があったことからも静岡から清水まで自転車で走ったかもしれない。当時の自転車はダルム型でサドルの位置も高かったことから、走る姿は馬で駆け巡る姿と同じように感じたのかもしれない。鞍でカッコいい姿は慶喜公自らのダンディズムを表現する道具だったと想像できる。

趣味人として生きていられる慶喜公だが、健康に気遣い、身体を鍛えることに関心を持っていたという。50歳を過ぎた慶喜公には、自転車に乗ることは身体を鍛える運動の一つで、さらにカメラをはじめとする西洋のモノにも興味があったようだ。当時の自転車はダルム型でサドルの位置も高かったことから、走る姿は馬で駆け巡る姿と同じように感じたのかもしれない。鞍でカッコいい姿は慶喜公自らのダンディズムを表現する道具だったと想像するが、元将軍が目の前を自転車で走る姿に、庶民は本当のところ、驚きと奇異の目を向けていた。

静岡市が自転車のまちとなる由縁は、慶喜公にあったのではないだろう。最後の将軍の自転車走る姿に触発されて、多くの庶民が早い時期から自転車を楽しむようになったようだ。なぜならば、慶喜公が自転車にまつわる逸話として、綺麗な女性に見とれてどこかに突っ込んだとか、お供の者が自転車についていけず人力車で追いかけたとか、自転車の練習台を屋敷の庭に作った、池に落ちたなど、今でも市民に語り継がれている。自転車によって慶喜公は庶民のなかに溶け込むことができたようになり、また、庶民も元将軍の人間らしい姿を見ることで慶喜公に親しみを感じ、「けいささん」と慕われるようになったのは自転車のお陰かもしれない。



※徳川慶喜家扶日記
徳川慶喜の家扶たちが書き留めた公用日記。慶喜公の静岡時代から東京移住時代までの43冊にわたっている。

Crossbikeコース② 丸子路と太平洋岸自転車道を走る

丸子宿を經由して太平洋岸自転車道を走り、駿河湾と富士山を堪能しよう



◆スタート/ゴール=静岡駅北口/静岡駅南口 ◆走行距離=約30km ◆走行時間=約3.5時間

- 1 弥勒緑地(みろくりよち)**
弥勒公園、三角公園とも呼ばれる、公園の一角に交番がある。園内には、清水の次郎長の川会所があった場所。由此正器器社碑もある。公園内にトイレ有り
- 2 丁子屋(ちょうじや)**
とろろ汁で有名な丁子屋(ちょうじや)は、慶長元年(1596)の創業。広重の絵の題材にもなった店。茅葺屋根の建物は風情がある。自然薯を味噌で味付けしているのが特徴
営業時間/平日11:00~15:00 土日祝11:00~19:00
定休日/木曜日、月末のみ水・木曜連休 054-258-1066
- 3 駿府匠宿(すんぶたくみしゆく)**
今川、徳川時代から受け継がれた静岡市の伝統産業と歴史をテーマに「創る、遊ぶ、学ぶ、触れる、観る、味わう」といった生活文化を体験できる施設
営業時間/9:00~17:00 (7/20~8/31の間は9:00~18:00) 年末年始のみ休業。駿府工芸館は有料
- 4 辻月峰楽屋寺(つげぼうえいさいおくじ)**
国指定の名勝・史跡庭園。室町時代の中期、遠歌師楽屋軒宗長が草庵を結んで閑居したところで、辻月峰の名によって天下に知られた名勝
拝観時間/9:00~17:00
大人300円、小中学生200円
- 5 芹沢銚介(せざいけいすけ)美術館**
芹沢銚介は、静岡市出身の染織の大家で人間国宝。世界各地の民芸品を蒐集した。同美術館は登呂遺跡に隣接、芹沢の作品とコレクションを中心に展示、公開されている
開館時間/9:00~16:30 休館日/毎月曜日、祝日の翌日、展示替り期間中、年末年始 一般420円、高大学生260円、小中学生100円、未就学児無料
- 6 蕎麦処さしがみ**
東海道五十三次の丸子宿と岡部宿の間、宇津ノ谷の集落にあるそば屋。店のオーナーは自転車好きで、楽しい自転車談義で盛り上がるだろう
営業時間/平日11:00~14:00 土日祝11:00~15:00 定休日/月曜日、第1、3火曜日(祝祭日の場合は翌日) 電話054-258-5664

Roadbikeコース③ 藁科川沿いを走り、オクシズを満喫

清流を見ながら本山茶を一服、秋には大銀杏が黄金色に輝く里山



◆スタート/ゴール=静岡駅北口 ◆走行距離=約52km ◆走行時間=約4.5時間

- 1 木枯森(こがらしのもり)**
藁科川が安倍川と合流する地点からやや上流にある小高い川中島(中州)で静岡県の指定名勝。この川中島は清少納言の「枕草子」の中でも記されており、古くから駿河の国の歌枕として数多くの和歌に詠まれている。島には八幡神社が建立されている
- 2 佐藤園工場・直売所「お茶カフェ」**
歴史ある茶産地の本山地域で自社茶園と製茶工場をもつ佐藤園が、地元のお茶を路面店で紹介。試飲しながらお茶選べることができる無料カフェスペースがある 営業時間/9:30~17:30 (11月~2月は17:00まで) 定休日/火曜日
- 3 中薬科小学校の大イチョウ**
中薬科小学校は市街地から北へ約13キロほどのところにある小学校、その運動場に樹齢140年以上の大イチョウの樹がある。秋の銀杏、そして紅葉はとても美しい
- 4 藁科都市山村交流センター「わらびこ」**
気軽に立ち寄ってトイレはもちろん、お風呂も利用できる。わらびこではそば打ち体験、自然食作りなどの周辺の魅力を発信するため交流講座を実施している
利用時間/9:00~17:00 休館日/月曜日、祭日の場合は翌日、年末年始、第4火曜日
- 5 黒俣の大イチョウ**
黒俣の大イチョウは、静岡県指定の天然記念物。推定樹齢は500年。幹の周囲は8.7mあるオスの大木で、その大きさに驚かされる。大イチョウの前には、鳥居と説明が書かれた看板がある
- 6 きよさわりの駅**
静岡市の山間部清水地区にある里の駅。素朴な味わいの田舎蕎麦や肉肉を使ったのしりこツケ、そしてよき金つばなど地域の主婦が作る山里料理が人気。営業時間/9:00~16:00 定休日/月曜日(祝日の場合は翌日)

自転車安全利用五則

- 1. 自転車は車道が原則、歩道は例外**
●道路交通法上、自転車は軽車両として位置づけられている。したがって、歩道と車道の区別がある場合は車道通行が原則である
- 2. 車道は左側を通行**
●自転車は、道路の左側に寄って走行しなければならない。
- 3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行**
●歩道では、すぐに停止できる速度で、歩行者の通行を妨げる場合は一時停止しなければならない。
- 4. 安全ルールを守る**
●飲酒運転は禁止
●二人乗りは禁止
●並進は禁止
●信号を守る
●交差点で一時的停止と安全確認
●夜間はライトを点灯
- 5. 子どもはヘルメットを着用**
●児童・幼児の保護責任者は、児童・幼児に車用のヘルメットを着用させるようとする。

静岡市 レンタサイクル		
1回500円		
ホテルガーデンパーク静岡	054-252-6500	
静岡第一ホテル	054-281-2131	
ビジネスホテルマスターチ	054-254-3651	
スマイルホテル静岡	054-252-8366	
静鉄ホテルリゾート静岡駅北	054-252-2040	
静鉄ホテルリゾート静岡駅南	054-202-5000	
浮月楼	054-252-0131	
静岡タウンホテル	054-251-3755	
サンパレスホテル	054-282-2277	
ザ・エンブレ七間町	054-260-5234	
待月楼	054-259-0181	
湖山温泉 湖山苑	054-294-0157	
ホテルオークヤ静岡	054-204-0321	
サイホテル	054-281-4981	
スリッパ(大和屋商店)	054-366-1216	
ホテルエース清水	054-366-7101	
湖畔の市	054-355-3575	
エスパルスドリームプラザ	054-354-3360	
エスパルスドリームファミリー	054-352-9161	
日の遊園地・水上バス乗り場	080-3389-3301	
Guesthouse Tessen (ゲストハウステッセン)	054-375-3055	
観光旅館西山	054-334-0105	
旅館 伯梁	054-334-8561	
民宿 潤	054-334-0111	
三保園ホテル	054-334-9189	
カフェレストランまほろくり	054-334-7732	
三保ハイツキャンプ場	054-334-7732	
東海大学海洋科学博物館	054-334-7732	

Crossbikeコース④ 大谷放水路から駿河湾へ、太平洋岸自転車道を走って草薙へ

太平洋岸自転車道を走り久能山東照宮へ、草薙エリアを周遊

東静岡駅南口からスタート。南幹線を渡り、大谷川放水路の側道を南に向かって走る。田園風景を楽しむ気持ちの良いコース。大谷川水の手前を左折し国道150号、太平洋岸自転車道(静岡清水自転車道)を清水方面に進む。前方には伊豆半島が見える。国道150号沿いには、石垣イチョウのツチノコ狩りや1月からゴールデンウィークまで続く。しばらく走ると、徳川家康公が葬られた久能山東照宮が左手の山頂に見えてくる。鳥居の先には山頂まで階段1159段が続く。左手前方に富士山が見える駒形西交差点を左折し国道198号へ、ここで名刺・鉄舟寺を拝観。狐ヶ崎を経て南幹線沿いを走り草薙神社に立ち寄りゴールの草薙駅へ。

◆スタート/ゴール=東静岡駅南口/草薙駅 ◆走行距離=約23km ◆走行時間=約2.5時間



- 1 東静岡駅**
1998年10月に東海道本線貨物駅と静岡駅の間に新設開業。1999年にはグランシップがオープン。現在は南口、北口周辺の再開発が進められている。2013年4月にMARK IS静岡が開業
- 2 大谷川放水路(おおやがわほすいり)**
1974年7月の七夕豪雨で被害を受けた巴川流域の治水対策の一環として建設された。静岡市古庄付近で巴川から分派し、駿河湾に注いでいる。延長6.3kmの二級河川で河口には防潮水門の大谷川水門がある
- 3 太平洋岸自転車道(静岡清水自転車道)**
静岡清水自転車道は、静岡市駿河区中島~静岡市清水区横砂に至る延長31.9kmの区間。駿河湾に沿って走る海岸線のツーリングを堪能できるコース
- 4 久能山東照宮(くのうさんとうしゆく)**
徳川家康公を祀った最初の神社。国宝の社殿をはじめ全ての建物が国指定の重要文化財
拝観時間/9:00~17:00
大人500円、小中学生200円
- 5 鉄舟寺(てっしゆじ)**
一時廃寺となった久能寺を明治になって、山岡鉄舟が再興した徳清宗の寺院。与藤野晶子の歌にもある如意輪観音像が有名
拝観不可
- 6 草薙神社(くさなぎじんじゃ)**
御祭神は、日本武尊(やまとたけるのみこと)。南幹線沿いの一の鳥居から「草薙神社の道」と呼ばれる参道が1.5キロほど続く。草薙神社の例祭で打ち上げられる仕込み花火の「大龍勢」は有名
- 7 石垣イチョウ**
石垣イチョウは、東西8キロにわたって、南斜面で石垣を利用して栽培されている。農園でのイチョウ狩りのピークは、正月からゴールデンウィークまで。入園料を払ってミルクリン入りのカップを渡され制限時間は食べ放題。各農園にはスイーツのプレミアムメニューもある

Citycycleコース⑤ 世界文化遺産の三保松原を目指す

清水港と三保半島を水バスと自転車道でぐるりと一周

清水駅東口からスタート。水上バスに乗船するために日の出乗り場に向かう。船上から眺める清水港と富士山は絶景。三保海水浴場横から清水灯台を目指す。灯台の近くの三保園ホテルには無料の足湯。途中に寄るのはいしりこツケ、倉津の集落へ。興津(河口)に架かる新興津川橋の先は前方に富士山が見え、清水港線跡地自転車道を南に進み三保松原へ。松原と御神社を結ぶ神道を抜けて、清水港線跡地自転車道に向かう。かつての清水港線に思いを馳せながら、折戸湾の旧町木場へ。さらにこの出石倉庫群の中を通り抜け、国道149号を渡り、エスパルス通りを走り船橋「末廣」と次郎長通りで次郎長生家立ち寄り。ここから先は巴川沿いを走り興津駅へ向かう。

◆スタート/ゴール=清水駅 ◆走行距離=約19km ◆走行時間=約2時間(水バス乗船時間を除く)



- 1 水上バス(三保羽衣ライン)**
「清水魚市場河岸の市」~「日の出」~「三保半島」を結ぶ水上バス。日の出の乗り場でレンタサイクルも借りることができる。清水港と三保半島、富士山を船上から眺めることができる。料金は、日の出~三保園片道400円。運行時刻は、HPで確認のこと
- 2 清水灯台(三保灯台)**
三保半島の東端に立つ1912(明治45)年に初点灯された日本で最初の鉄筋コンクリート造の灯台、現在は無人の灯台として活躍(最上部には風見鶏のかわりに天女がいます)
- 3 三保松原(みほのまつばら)**
約7千口の海岸線に松並木が連なる日本屈指の景勝地。駿河湾に富士山や伊豆半島が見える。2013年にはユネスコの世界文化遺産「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」の構成資産に登録された
- 4 清水港線跡地自転車道**
清水港線跡地の歩行者自転車専用道路はJR清水駅東側からドリームプラザ付近を通り、三保半島まで続いている。清水港線に思いを馳せながら、そして富士山を眺めつつ走るのがおすすめ。歩行者も多いので走行には注意しよう
- 5 出石倉庫群**
石造倉庫には、壁面のモルタルがはがれて石積みが残っている倉庫もある。湿度変化を嫌う砂糖や米を保管するため、防湿性能と防火性能を持った伊豆石を用いた石造木骨の建物として建設。日の出埠頭の倉庫の多くは今も稼働しており、現役の産業遺産
- 6 清水次郎長の船宿「末廣」(すえろ)**
次郎長生家
清水次郎長の船宿「末廣」は、1886(明治19)年に清水波止場に開業した船宿
開館時間/平日9:00~17:00 休館日/年末年始
その先の次郎長通りには次郎長生家もある。見学無料

Crossbikeコース⑥ 興津、由比、蒲原の東海道宿場町を巡る

富士山と駿河湾を眺めながら東海道の宿場町を巡る

興津駅からスタート。国道1号を右折して興津坐漁荘へ。次に、来た道を戻り興津へ向かう。左手の坂の上には東海道屈指の名刹清見寺が見える。興津駅を過ぎて、ハイパスに沿って走ると右手に駿河湾、前方に伊豆半島を見渡せる。左手には東海道の難所として有名な薩埵峠。興津(河口)に架かる新興津川橋の先は前方に富士山が見える。富士山はハイパスと合流したと、東海道本線と合流した、街道の宿場町だった由比、倉津の集落へ。由比川橋を渡ると左手に由比本陣公園。この先は東海道五十三次の時代から栄えた宿場町の蒲原。旧五十嵐富科医院や志田邸など風情ある町並みが続いて楽しめる。その先はゴールの新蒲原駅だ。

◆スタート/ゴール=興津駅/新蒲原駅 ◆走行距離=約15km ◆走行時間=約2時間



- 1 興津坐漁荘(おきつざぎょそう)**
興津坐漁荘は明治・大正・昭和にわたる政治家、西園寺公望の別荘を忠実に復元した純木造寄屋造りの建物 入館料は無料、開館時間/平日10:00~17:00 土・日曜日、祝日9:30~17:30 休館日は月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始 入場料一般520円 詳しくはHPにて
- 2 清見寺(せいけんじ)**
臨済宗の東海道屈指の名刹。駿河湾を望む風光明媚な高台にある。境内の五百羅漢は鳥居藤村の作品にも登録されていることで有名。朝鮮通信使ゆかりの寺としての国の史跡にも指定されている 拝観時間/8:30~16:30 志願料大人300円、中学生200円、小学生100円
- 3 薩埵峠(さたどうげ)**
東海道の三大難所として語られてきた東海道五十三次の由比宿と興津宿の間。峠からの富士山と駿河湾の景色は、東海道五十三次に残されるほどの絶景
- 4 東海道広重美術館(とうかいどうひろしげ美術館)**
全国で初めて浮世絵師歌川広重の作品を中心にコレクションされた「東海道広重美術館」がある。開館時間/平日9:00~17:00 休館日は月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 入場料一般520円 詳しくはHPにて
- 5 旧五十嵐富科医院(きゅういづらふしかい医院)**
1914年に改装された洋風建築で、国登録有形文化財 開館時間/9:30~16:30 (3月~10月)、9:30~16:00 (11月~2月) 休館日は月・祝日の翌平日 年末年始
- 6 浜のかきあげや**
由比漁港にある食事処。本場の桜えびを味わえるかき揚げ丼が名物 営業時間/10:00~15:00 営業日カレンダーはHPを参照
www.yuikou.jp/enjoy.html

Roadbikeコース⑦ 安倍川沿いを走り、オクシズそして温泉郷へ

安倍川沿いに走りオクシズと温泉郷を目指す

静岡駅北口から浅間通りへ。山田長政の胸像を見てから、茶町へ進み茶町KINZABUROへ一服。北番町にある共祭招魂社跡地の石碑を過ぎ、美和方面へ。狩野橋を渡り安倍川沿いの土手を走り上流に向かい、新東名高速道路の左折を。聖一園師が静岡にお茶を伝えたという足久保を眺めながら進むと左手に南叟寺が見える。足久保は地元農家が出している無人販売も多い。安倍川にかかる橋を渡り駿機都市山村交流センター安倍こころで休憩、ここから戻るのも良い。真富士の里へ、さらにその先温泉郷を目指すのも良い。あとはあなたの脚力次第。

◆スタート/ゴール=静岡駅北口 ◆走行距離=約35km ◆走行時間=約3時間



- 1 浅間通り(せんけんどうり)**
安倍街道沿いに立つ赤鳥居から浅間神社までが浅間通り。そのうちヶヶ町町は、駿府城下町が出来ると浅間神社門前町として栄えた。毎年10月には日・タイ友好「長政まつり」が開催される
- 2 山田長政(やまだながまさ)の胸像**
山田長政は、1610(慶長15)年駿府の商人とともにシャム(タイ)アユタヤに渡り、日本人の頭領として活躍したことで有名。胸像の先には浅間神社が見える
- 3 共祭招魂社跡地の石碑**
明治維新以降、戦没軍人、軍医を神様として祀っている静岡興護園神社は、明治32年11月に共祭招魂社として静岡市北番町に創立された。昭和17年にここに樹木の静岡興護園神社に移転した
- 4 茶町**
お茶を好んだ家康公は、駿府城下町の中に茶の取引を専門とする町として誕生させた。茶町には聖一園師の御茶のある安部茶を商う問屋が集中した。なかでも足久保茶は、家康公の御用茶として大切に保護されていた。お茶の御用を動けた足久保の茶師たちは、代金として毎年千両千人扶持をもらっていたという
- 5 駿機都市山村交流センター-安倍こころ**
都市住民と山間地住民の連携・交流を促進するために多数のイベントや交流講座を企画している
利用時間/9:00~17:00 休館日/月曜日(祝日の場合は翌日)、第4火曜日、年末年始
- 6 茶町KINZABURO**
2階では、購入した「茶」から「茶」るるなどお菓子や10種類ほどのお茶(無料)で楽しめる
営業時間/平日9:30~18:00 (日祝日は10:00~17:00) 定休日/水曜日
電話054-252-2476